

出雲大社

御本殿



縁結びの神・福の神として名高い出雲大社。主祭神はだいきく様として馴染み深い大国主大神（おおくにぬしのおおかみ）です。「古事記」に記される国譲り神話で、大国主大神が高天原（たかまがはら）の天照大神（あまてらすおおかみ）に国を譲られます。その際に造営された壮大な宮殿が出雲大社の始まりとされています。

現在の御本殿は延享元年（1744年）に造営されたもので、昭和27年（1952年）に国宝に指定されました。御本殿の高さは約24mですが、平安時代には約48mあったといわれています。

④ 出雲市大社町杵築東195
0853-5313100



きよだいほんでんいこう
巨大本殿遺構
平成12年(2000年)に出雲大社の境内から、鎌倉時代前期の本殿に伴う柱が出土しました。3本が一組となっており、「心御柱(しんのみはしら)」は境内の宝物殿に、「宇豆柱(うづはしら)」は古代出雲歴史博物館に展示されています。

神在月

旧暦10月は、全国の八百万の神々が出雲の国に参集されると言われています。他の土地では神無月と言われていますが、出雲では「神在月」と呼びます。お集まりになった神々は、出雲の地で人々のご縁組みなどについて会議をされると言われています。



出雲大社 神在祭神事日程

旧暦10月10日 夜	神迎神事(稲佐の浜)、神迎祭(神楽殿)
旧暦10月11日	神在祭
旧暦10月15日	神在祭・縁結大祭
旧暦10月17日	神在祭・縁結大祭 からさきでさい 神等去出祭(拝殿)
旧暦10月26日	第二神等去出祭



神在祭が執り行われる出雲市内の神社

朝山神社	神在祭 旧暦10月1日~10日
日御碕神社	神在祭 旧暦10月11日~17日
万九千神社	神在祭 旧暦10月17日~26日、 神等去出祭 旧暦10月26日

※万九千神社では、参集された神々が最後にお立ち寄りになり、この地から帰路につかれると言われています。



そがのやしろ
6 素戔社
大国主大神の父神であり、「八岐大蛇(やまたのおろち)退治」でも有名な素戔鳴尊(すさのおのみこと)が祀られています。



かぐらでん
5 神楽殿
神社建築には珍しく装飾ステンドグラスが使われており、正面には日本最大級の大しめ縄があります。



はいでん
4 拝殿
高さが12.9mあり、戦後最大の木造神社建築と言われています。御本殿の屋根を拝することができるよう、御本殿に対し左にずらして建てられています。

ご参拝ガイド
参拝の作法は二礼四拍手一礼です。



じゅうくしゃ
3 十九社
神在祭で神々の宿所となる社です。神々がご滞在中は、全ての扉が開かれます。



みずしや
2 手水舎
柄杓で水を汲み、左手、右手の順に清めたあと、左手に受けた水で口をすすぎます。もう一度左手に水をかけ、最後は残った水で柄杓の柄を洗い清めます。



はらのやしろ
1 祓社
全国でも珍しい下り参道の右手にあります。神前に至る前に、ここで心身の穢れをはいらい清めます。ここでも参拝は二礼四拍手一礼です。



けいだい
境内のうさぎ
出雲大社の主祭神は神話「因幡(いなば)の白兔(しろうさぎ)」で傷ついたウサギを助けた神様です。その神話に因み、境内には多くのウサギの石像があります。いろいろな姿をしたウサギ達がいるので、ぜひ探してみてください。